

表彰者推薦書

令和 3 年 12 月 20 日
日本応用地質学会中国四国支部
表彰委員会

令和 3 年 10 月 29 日に行われた日本応用地質学会中国四国支部令和 3 年度研究発表会において、下記の 2 件の口頭発表について、その内容と発表技術が最も優秀と認められ、優秀発表賞として推薦されました。また、下記の 1 件の口頭発表について、講演者が中国四国支部研究発表会で初めて発表したもので、その内容と発表技術が優秀と認められ、新人賞として推薦されました。その理由とともに、以下に報告いたします。

優秀発表賞（2 件）

「扇状地河川の瀬切れによる活断層発見の有効性について」

表彰者 宮地修一・中根久幸（株式会社地研）・長谷川修一（香川大学）

【表彰推薦理由】

扇状地河川の「瀬切れ」という、河川地形・流水の表面形態に着目することで、伏在する活断層の推定方法となりうる新しい技術的手法を提示したことが特に注目される。今後、瀬切れを引き起こす水文地質構造、特に帯水層の層厚変化と、それに大きく影響する伏在活断層による地層の変形構造について、ボーリング探査や物理探査、さらには水文地質的特性などの検討結果・知見が得られれば、簡便かつ有力な伏在活断層調査手法としての技術的な発展が大いに期待できる。以上の点から、本業績は優秀発表にふさわしいと認められた。

「鯛釣り文化と海底地形・地質の関係」

表彰者 谷野宮竜浩（田村ボーリング株式会社）

【表彰推薦理由】

研究の新規性がまず挙げられる。近年、TV 番組「ジオ・ジャパン」で「食」と「地質」が取り上げられたように、“文化地質学”の一ジャンルとして位置づけることができ、鯛釣りの漁法と海底地形や潮流との関係を議論している点で、当支部の活動テーマである「地域の自然・人・産業・文化を守る応用地質学」の趣旨に合致し、今後の展開が期待できる。また、汎用的な GPS 魚群探知機を用いることで、瀬戸内海の浅海域における海底測量が十分な精度で行えることを示しており、海底地形の調査方法として簡便かつ有用な手法であることを実証するとともに、今後の技術的な発展も大きく期待できる。以上の点から、本業績は優秀発表にふさわしいと認められた。

新人賞（1件）

「地下水の季節的な水質汚濁と鉄との関係についての考察」

眞光浩亮・嶋克久良・露口耕治（株式会社四電技術コンサルタント）

【表彰推薦理由】

山麓に広がる谷底平野の地下水において、毎年秋ごろに濁度・鉄・有機物濃度が上昇するという特異な水文地質現象を取り上げ、その原因に関する予察的な検討を行い、水田での季節的な湛水・排水による土壌中の鉄の酸化還元反応が影響した可能性を指摘している。この報告のような周期的な地下水質の悪化は、全国的に見てもきわめて特異な現象と考えられ、今後、水質悪化をもたらす水文地質学的な詳細な研究の進展が大きく期待される。なお、本発表は、発表者が日本応用地質学会に入会后、支部研究発表会での初の発表である。以上の点から、本業績は新人賞としてふさわしいと認められた。

以上